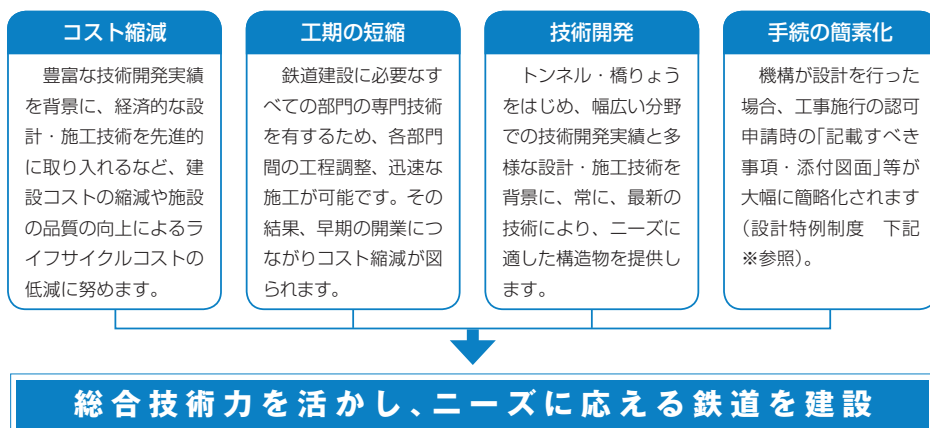


鉄道建設に関わる総合技術力

鉄道が完成するまでには、ルート選定のための調査、関係機関との協議、用地取得、鉄道構造物の設計・施工などを行う必要があり、多方面にわたる技術力が要求されます。また、長期間を要するとともに、莫大な資金が必要となります。機構は、鉄道建設のための調査・計画・設計・施工の各段階において、長年にわたり全国で鉄道建設を行って培った豊富な経験、技術力を活かし、また、公的機関・総合技術者集団として、資金を調達し、鉄道事業者や地域の方々と協議を行いながら、利用しやすい鉄道をコスト縮減に努めながら迅速に建設してまいります。



鉄道建設のための調査・計画

- 1 調査・工事計画の作成** ルート・駅位置の選定から関係機関との調整、協議、用地取得、鉄道構造物の設計・施工など、これまでの鉄道建設の豊富な経験と技術力を駆使し、合理的、効率的な工事計画の作成を行います。
※設計特例制度：当機構は高い技術力を有すると認められているため、鉄道事業者が工事施行の認可申請などを行う際に、当機構が設計を行った場合には簡略化された手続によることができます（鉄道事業法第14条）。
また、工事を実施する機構が設計を行うので、より精度の高い工事計画の作成が可能となり、結果としてコスト縮減につながります。
- 2 資金の調達** 鉄道建設には莫大な資金が必要となりますが、信用度の高い公的機関として、民間借入金を含む多様な建設資金を円滑に調達します。
- 3 工事の実施** 工事の実施にあたっては、地方公共団体や地元の方々に対して、ご理解、ご協力を得るための説明をさせていただき、適切に各種協議を行うとともに、土木・機械・電気・建築部門の技術力を集結し、適正・的確な管理の下で工事を進めます。
工事中の騒音や振動対策など地域環境の保全に努め、第三者に対する事故防止や工事事故防止についても工事関係者が一体となって、万全の体制で取り組みを進めます。